



2班 わんわん



EVキャン

2022.11.10

井上・川野・金内・山本





目次



- 01 アイデア概要
- 02 アイデアを図解
- 03 独創性・新規性
- 04 実現可能性
- 05 環境への貢献度

AIDEA GAIYOU

01

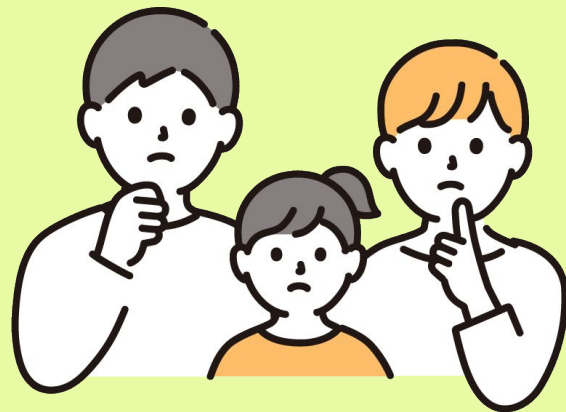


アイデア概要

「キャンプしたい！」

でも...

- ・夜暗い！
- ・行くまでの準備が面倒...
- ・スマホ充電できない！
- ・ご飯食べるために火おこし！？(笑)
- ・グランピングでいいじゃん？
- ・テントはキャンプ感の醍醐味！



バイオマス
発電



×

EV車
キャンプ



キャンプ以上グランピング未満！脱炭素型お手軽キャンプ

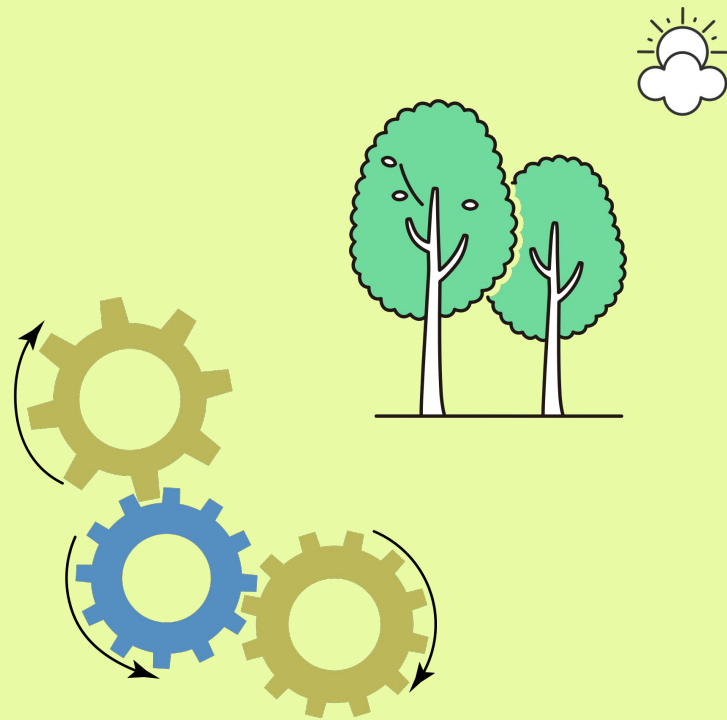
「EVキャン」
(イヴキャン)

バイオマス発電の利用

バイオマス発電とは...

動植物由来の生物資源を
直接燃焼したり
ガス化することで発電する方法(アスエ
ネメディア)

豊富な広葉樹林のある岡山にピッタリ！
エネルギー自給率が
約11.6%→約32.4% になった例も
(岡山県真庭市)



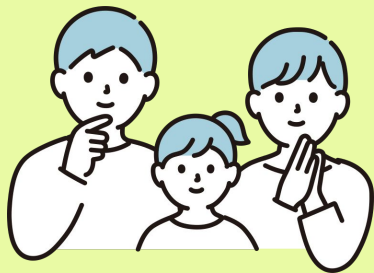
AIDEA ZUKAI

02

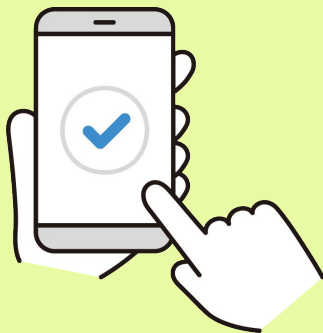
アイデア図解



EVキャン利用の流れ



そうだ、キャンプに
行こう！



カーシェア
サービスから
『EVキャン』
プラン予約！



EV車とご対面！
キャンプ地まで
のんびりドライブ！
途中で食材も買いに行ける



さあキャンプだ！

図解！EVキャンの魅力



座席後方を倒して
車中泊もできちゃう

EVキャン『三種の神器』貸出！

- ・ホットプレート
- ・ポータブル冷蔵庫
- ・電気ケトル

キャンプ必須用品貸出

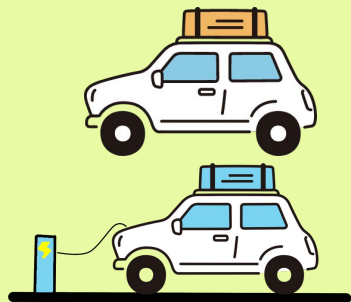
- ・テント
- ・机椅子
- ・食器類etc…

バイオマス発電
充電スタンド



EVキャンの色々な楽しみ方

EV車に
“優しい”



自家用EV車だけでなく
ガソリン車での利用も可
能！

EV車利用の
きっかけに



EV車の良さをくまなく
実感出来る1日に。

簡単！スマホ予約
だけで



スマホ予約だけで
移動手段から必要用品
まで借りられる
前日飛び入り予約も可能

大自然に癒されながら
テレワーク



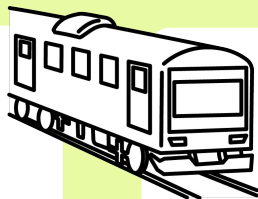
Wi-Fi環境だから
ワーケーション利用も

企業との連携



レンタカー会社

岡山駅などの主要駅
でEV車貸出！



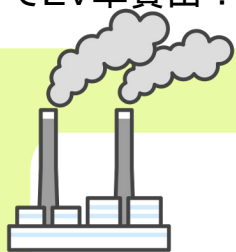
鉄道会社

岡山まできてもらうこと
によって地域活性化も！



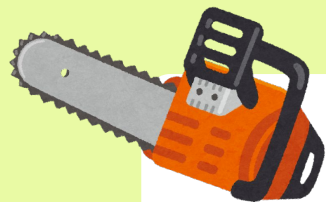
キャンプ用品会社

用品の貸出によって
購入の転機にも！



バイオマス発電会社

木材から獲得した葉を電力に！



林業

林業界を活性化！

SINKI DOKUSOUSEI

03



独創性
新規性

独創性・新規性



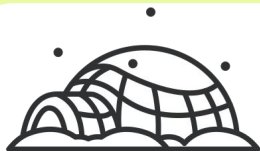
EV車 × キャンプ

- ・EV車でキャンプだけでなくドライブも楽しめちゃう！
- ・EV車から電気が賄える！



バイオマス発電から

- ・キャンプ場で使う電気はすべてバイオマス発電から賄われているからエコ！



EVレンタカーサービスとの連携

- ・EV車がスマホからラクラク借りれる！



広葉樹の有効活用

- ・広葉樹がコテージに使われたり、キャンプ場の土地に使われる！

なぜ広葉樹？

- ・日本には19億 m^3 もの広葉樹が存在している（林野庁「森林資源現況調査」より）

ただし

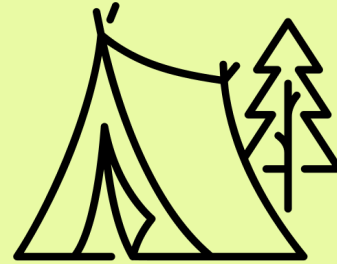
- ・有効活用されているのは年間約240万 m^3 にとどまっている（政府統計「木材統計調査」より）

→人間の手が入らなくなった広葉樹林を循環活用！

- ・伐採しても自然に再生するため、建設用の木材としてもバイオマス燃料としても循環して使える

- ・伐採して空いた土地にキャンプ場を建設するため、人間の手が入らなくなった広葉樹林を有効活用できる

広葉樹の有効活用



目に見えないカタチで

バイオマス発電

そのエネルギーを
キャンプ場へ

EV車の給電
電化製品の利用など

人間の手が入らなくなっ
た広葉樹林を伐採

↑
広葉樹のチップ化

目に見えるカタチで

木材の加工

木材はキャンプ施設(コ
テージなど)に

伐採した土地の
再利用



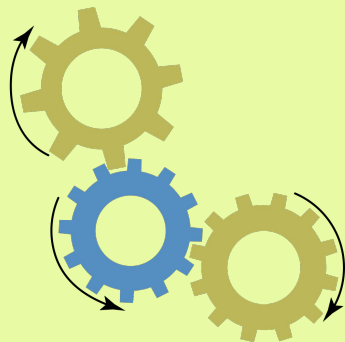
OUR STAFF

04

實現可能性

技術面

バイオマス発電



・真庭市では...「エネルギーの森づくり」構想

間伐材や一般木材を燃料にしたバイオマス発電が確立

→現在、広葉樹を燃料化しようとしている。（技術はあるがコスト的な問題で事業化できていない）

技術はあるため実現は可能

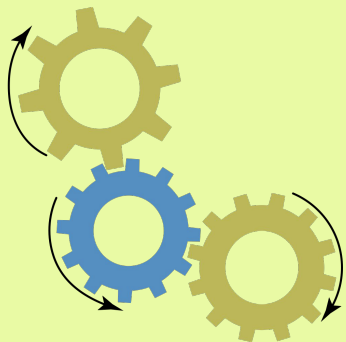
EVキャンプ



岡山県（中国地方）のレンタカー会社と連携することにより実現可能

コスト面

バイオマス発電



燃料を広葉樹に変更するにあたり、主に

- ・広葉樹の立木の購入コスト
- ・育った広葉樹を伐採しバイオマス燃料にする際のコスト（広葉樹伐採に適した機械の開発やチップ加工費）

の増加が見込まれるが効果を考慮すると十分許容可能

EVキャンプ



- ・レンタカー会社との連携にかかる費用
- ・キャンプ場の建設費（EV充電スタンドや広葉樹由来のコテージなども）

KOUKEND

05

環境への貢献度



バイオマス発電



- ・カーボンニュートラルである(CO2削減ができる)
- ・再生可能エネルギーである
- ・燃料が国内の資源から供給できるため、林業・木材産業の活性化と森林整備の促進につながる

EVキャンプ



- ・CO2(排出ガス)を排出しない
- ・キャンプで使う電気が全てバイオマス発電で賄われている
- ・EV車を電源として使える(EV車の給電もバイオマス発電から)
- ・伐採した木材をコテージ等に利用できる